



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.697 2023.10.11

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

赤羽駅周辺まちづくり 基本計画策定検討会 5つのシナリオを提示

再開発の可否も含め検討

2日に開かれた第2回赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会は、赤羽小学校周辺の重点区域の整備について、今後検討していく5つのシナリオを示しました（下図参照）。

これまで、まちづくり協議会などでは、3つの市街地再開発計画が前提で議論が進められてきましたが、シナリオ1とシナリオ2は、すでに事業化されている「第1地区」を除いて、再開発によらない修復型まちづくりとする案になっています。

「第2・第3地区」と赤羽小学校を一体に再開発する3種類の「シナリオ5」を含む7パターンのうち、6つまでが赤羽小学校を現在地に存置する案です。

検討会で、村山顕人会長・東京大学大学院准教授は、「協議会で『まちづくり提案』（案）が否決されたと聞いて、ニューtralで民主的な議論が必要と考えた。5つのシナリオを並べ多角的に検討していきたい」と述べました。（のの山けん）

シナリオ 1

修復型（個別建替え）



シナリオ 2

修復型（共同建替え）



シナリオ 3

再開発（地区単位）



シナリオ 4

再開発（2・3地区一体）



シナリオ 5

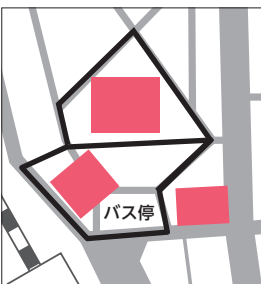
再開発（2地区・3地区・赤羽小学校一体）



①赤羽小は単独建替え



②赤羽小は再開発ビルと合築



③赤羽小は地区外に移転

※シナリオ1および2は市街地再開発によらない修復型の手法で、1は現在の建物を個別に、2は小規模共同化によって建て替える案。

※各図面は検討会資料を参考に、のの山が作成。建物や道路等の配置はあくまでもイメージであり、実際の計画とは異なります。

検討会が示した5つのシナリオ

北区政 ここが課題



9月21日から10月2日までに7日間の決算特別委員会が開かれ、昨年度の予算執行について集中的に論議。あらためて北区政の課題が浮き彫りになりました。(のの山けん)

日本共産党北区議員団は、一般会計決算について、3つの理由(囲み参照)から認定に反対しました。

財政に余力あるなら暮らしの応援に

昨年度は、コロナ禍に加え、急激な物価高騰が生活や営業に大きな影響を及ぼしました。区は当初予算で、暮らしを支えるための財政調整基金を残高134億円まで活用するとしていましたが、取り崩すどころか逆に当初予算比で22億円、残高見直しからは66億円も積み増

2022年度一般会計決算の認定に対する反対理由

■ 第1の理由

コロナ禍、物価高騰の中で200億円の財調基金を積み上げながら、暮らし・営業を支援する手立てが不十分にとどまったこと。

■ 第2の理由

区民サービスにも重大な影響を及ぼす指定管理者制度などの「行財政改革」を、抜本的な検証めきに、さらに推し進める予算執行であったこと。

■ 第3の理由

「公民連携」のかけ声で、民間大企業の利益に奉仕する駅周辺まちづくりを推し進めていること。

し、年度末には200億円に。特別区民税も財調交付金も増収となる中、財政に余力があるのなら、区独自の給付金支給や中小業者への直接支援などに回すべきでした。

保険料連続値上げにストップを

国民健康保険、後期高齢者医療保険では、またも保険料が値上げとなり、生活困窮、受診抑制など深刻な影響が広がっています。国保・後期高齢会計には賛成しました。

閉鎖型喫煙所

時期や場所など設置に向けて検討

決算特別委員会で指定喫煙場所をコンテナ式の閉鎖型にするよう要請。区は、「閉鎖型喫煙所については、現在、時期や場所など設置する方向で検討している」と答えました。(のの山けん)

